

## 山口情報芸術センター [YCAM] 研究開発／ワークショップ

YCAM InterLab + 安藤洋子 共同研究開発「Reactor for Awareness in Motion (リアクター・フォー・アウェアネス・イン・モーション)」

## プレゼンテーション

2013年2月23日(土) 14:00-16:00 入場料: 1000円

## ワークショップ

2013年2月23日(土) 18:00-22:00、24日(日) 10:00-17:00 [2日間通し]

料金: 2000円(プレゼンテーションの入場料含む) ※要申込

ともに山口情報芸術センター [YCAM] スタジオA

## メディアテクノロジーを介した身体と知覚の新しい回路—

## YCAMと安藤洋子の共同研究開発の成果を発表

山口情報芸術センター [YCAM] では、ダンスとメディアテクノロジーの新たな可能性を模索することを目的に、ザ・フォーサイズ・カンパニーの中心的ダンサーである安藤洋子と、日米で活躍するソフトウェア開発者たちとともに、ダンス創作のためのツールを研究開発するプロジェクト「Reactor for Awareness in Motion (リアクター・フォー・アウェアネス・イン・モーション/略称: RAM)」を実施しています。

このたび、安藤洋子やYCAM InterLabを始めとする開発チームと、ゲストでダンサーのシリル・バルディらを講師に、プロジェクトの最新の成果を紹介するプレゼンテーションと、開発したツールを用いて創作をおこなうワークショップを開催します。身体やそれを取り巻く環境の情報をテクノロジーを介して取得し、応用することで、どのような身体表現が可能になるのか——。近年、映画やゲームなどエンターテインメントの世界でも注目が集まりつつある、身体表現とメディアテクノロジーが交差する領域について、その最先端のアイデアに触れ、さらに実際の創作にも取り組むこともできるこの貴重な機会に、みなさまぜひご参加ください。



RAMの一環として制作されたインスタレーションで  
デモンストレーションを行う安藤洋子 (2011年)

## ■ RAM開発チーム

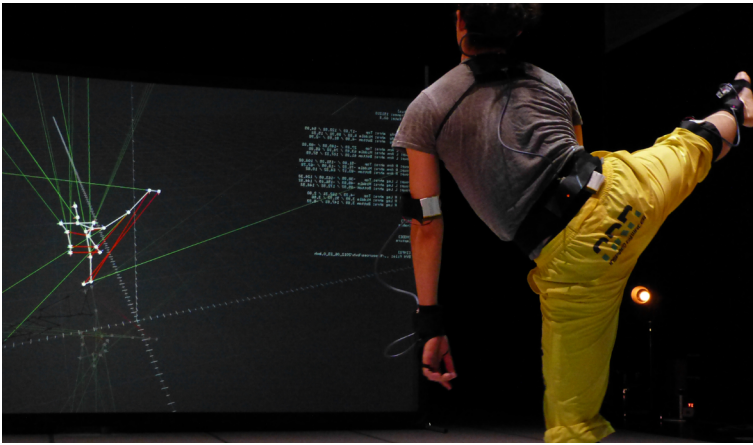
- ・ 安藤洋子 (ダンサー/ザ・フォーサイズ・カンパニー)
- ・ YCAM InterLab
- ・ 比嘉了 (プログラマー/アーティスト)
- ・ 大西義人 (アーティスト)
- ・ 清水基 (プログラマー)
- ・ カイル・マクドナルド (アーティスト)

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ 山口情報芸術センター [YCAM] 情報制作課 田中  
TEL: 083-901-2222 FAX: 083-901-2216 メールアドレス: press@ycam.jp  
〒753-0075 山口県山口市中国町7-7 <http://www.ycam.jp>  
取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。



## 身体の動きについてのイマジネーションを与えてくれる反応装置＝RAM



開発中の様子

YCAMは2011年から、ダンサーの安藤洋子と共同で、ダンス創作のためのツールを研究開発するプロジェクト「Reactor for Awareness in Motion（リアクター・フォー・アウェアネス・イン・モーション／略称：RAM）」を実施しています。

ダンスを予め決められた振付や演出から生まれるものではなく、身体と舞台上の空間などの〈環境〉との対話から発生するものと捉えたとき、その環境ごとに、さらには身体の位置づけごとに異なるダンスが立ち上がるはず——。RAMではそうした考えのもと、ある条件を持った〈環境〉を仮想的に設定し、その内部にいるダンサーの身体に、環境の情報をフィードバックするツールを開発しています。ダンサーは、このツールを介して、ダンスを生み出すための多様な「ルール」や「インストラクション」を自ずと見出すことができます。

### RAM Dance Toolkit

現在開発中のツールでは、モーションキャプチャーなどのテクノロジーを使用してダンサーの動きを検出し、それに対する環境からの応答を、ビジュアルやサウンド、振動などに変換しています。環境の設定は、予め用意されたいくつかのパターン以外にも、ユーザー自身がプログラムを書くことで追加できるため、幅広い応用が可能です。なおこのツールは開発終了後に「RAM Dance Toolkit」としてパッケージングをおこない、マニュアルとともにオープンソースで公開する予定で、この他にこのツールを用いた教育普及プログラムも展開する予定です。

### ■ 安藤洋子（ダンサー）



ザ・フォーサイス・カンパニー所属。1989年、舞踊家の木佐貫邦子に会い、本格的にダンスを始める。1997年より自作のソロダンス活動を開始。2001年には、ウィリアム・フォーサイスに認められ、フランクフルトバレエ団（2005年より「ザ・フォーサイス・カンパニー」）に入団。ザ・フォーサイス・カンパニーの中心的存在として世界の第一線で活躍中。同時に日本においても、自らの企画プロジェクトや外部カンパニーへのゲスト出演、振付など精力的に活動している。

### ■ YCAM InterLab

山口情報芸術センター〔YCAM〕に附属するメディアアートを専門とした研究開発チーム。主にYCAMの委嘱作品として発表するインスタレーション作品やパフォーマンス作品の技術開発をおこなっている。また、文化施設における技術者間の交流と人的ネットワークの構築、研究領域の拡大・普及を目的とし、国内外から研究者を招聘する共同研究などにも積極的に取り組んでいる。

## ダンスとテクノロジーの最先端に触れるプレゼンテーションとワークショップ



今回、2年間に渡る研究開発の締めくくりとして、その成果を報告するプレゼンテーションと、開発したツールを実際に使用して創作をおこなうワークショップを実施します。

### プレゼンテーション (23日)

開発チームのメンバーが、RAMの背景にある身体やダンスについての思想を解説するとともに、思想をツールにするプロセスを紹介します。また、ツールで使用しているモーションキャプチャーやセンサー、ソフトウェアなどの解説のほか、安藤と同じくザ・フォーサイズ・カンパニーで活躍するダンサーのシリル・バルディによるデモンストレーションもおこないます。

### ワークショップ (23日、24日)

ダンサー、振付家、プログラマーを対象に、ツールを使用した創作を2日間かけておこないます。講師は開発チームとシリル・バルディが務め、アーティストでopenFrameworksの日本語版ウェブサイトの運営に携わる田所淳がサポートします。ワークショップでは、ツールの使用法についてのレクチャーや技術面の詳細な解説をおこなった後、ダンサーとプログラマーとの間で相互理解を深めるユニークなエクササイズを挟みながら、グループでダンス作品の創作をおこなっていきます。第一線で活躍するプログラマーとダンサーが一同に会するこのワークショップを通じて、ダンスとメディアテクノロジーのコラボレーションを促進し、新たな表現領域を開拓していきます。

#### ■ 比嘉了 (プログラマー／アーティスト)

1983年生まれ。現在、株式会社ライゾマティクス所属。プログラムによって映像を作り出すシステムや編集するための仕組みからアプローチしたリアルタイムな舞台演出やインスタレーション、ライブパフォーマンスなどをおこなっている。

#### ■ 大西義人 (アーティスト)

1986年生まれ。プログラミングを用いた精緻な絵画作品や、プログラム／電子回路／生物を素材とした彫刻作品などを制作。映像作家、デザイナー、ソフト／ハードウェアシステム開発者として、多くの作家のプロジェクトに参加している。

#### ■ 清水基 (プログラマー)

ウェブ開発のエンジニアとしてキャリアを積んだ後、2010年国際情報科学芸術アカデミー[IAMAS]へ入学。卒業後は、フリーランスのプログラマーとして活動している。「Real world oriented」「Interactivity」「Networking」をキーワードに制作をおこなう。

#### ■ カイル・マクドナルド (アーティスト)

1985年生まれ。実験的なノイズやグリッチの研究から、没入型のインタラクティブインスタレーションまで、オルタナティブなセンサーの設計から、コンセプチュアルアートまで、その活動は多岐に渡る。また、オープンソースのソフトウェア開発環境「openFrameworks」の主要な開発者のひとりでもある。

#### ■ シリル・バルディ (ダンサー)

1980年フランス、ヴォワビー生まれ。1997年ザ・ジュンヌ・バレエ・ド・フランスののち、ネザールランド・ダンス・シアター (NDT II、NDT I)。2002年よりフランクフルトバレエ団に入団、2005年より現在までザ・フォーサイズ・カンパニーのダンサー。またクルベリー・バレエ団のバレエ・マスターも務める。

## 開催概要

安藤洋子+YCAM InterLab 共同研究開発

「Reactor for Awareness in Motion(リアクター・フォー・アウェアネス・イン・モーション)」

## プレゼンテーション

2013年2月23日(土) 14:00-16:00

会場：山口情報芸術センター [YCAM] スタジオA

プレゼンター：YCAM InterLab、安藤洋子、比嘉了、大西義人

デモンストレーション・ダンサー：シリル・バルディ

料金：1,000円 ※要チケット購入

※未就学児童入場不可

安藤洋子+YCAM InterLab 共同研究開発

「Reactor for Awareness in Motion(リアクター・フォー・アウェアネス・イン・モーション)」

## ワークショップ

2013年2月23日(土) 18:00-22:00

24日(日) 10:00-17:00 [2日間通し]

会場：山口情報芸術センター [YCAM] スタジオA

講師：安藤洋子、YCAM InterLab、比嘉了、大西義人、清水基、カイル・マクドナルド、シリル・バルディ、田所淳

料金：2,000円(プレゼンテーションの入場料を含みます)※要申込

対象：ダンス × テクノロジーの創作に興味があるダンサー、振付家、プログラマーなど。プログラマーはopenFrameworksに触れたことのある方。

持ち物：ラップトップコンピューター1台(推奨スペック＝CPU：Core2Duo2.33ギガヘルツ以上／メモリー：2ギガバイト以上／OS：Windows 7またはMac OS X 10.6以降／openFrameworks 0073インストール済)、動きやすい服装ならびに靴

定員：30名

※ワークショップ参加者は23日のプレゼンテーションにも参加してください。

主催：公益財団法人山口市文化振興財団

後援：山口市、山口市教育委員会

平成24年度文化庁優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業

特別協力：ドイツ文化センター

機材協力：株式会社ナックイメージテクノロジー、Motion Analysis Corporation、カラーキネティクス・ジャパン株式会社

企画制作：山口情報芸術センター [YCAM]

## ■ プレゼンテーションチケット情報

発売日：1月12日(土)

料金：[全席自由]

前売、当日とも1,000円

電話／窓口：

山口市文化振興財団チケットインフォメーション

**083-920-6111**

10:00-19:00 ※火曜休館、祝日の場合は翌日

インターネット：

**www.ycfcp.or.jp**

24時間受付 ※要事前登録

## ■ ワークショップ申込方法

下記の項目を明記の上、メールまたはFAXにてお申し込み下さい。(郵便不可)

- ・住所、氏名(ふりがな)、性別、生年月日
- ・電話番号、メールアドレスなど連絡先
- ・ダンサー／振付家／プログラマーの別(それ以外の場合は、具体的に)
- ・今までに関わったプロジェクトや作品。その他、ダンス、プログラム経験

メールアドレス：

**workshop@ycam.jp**

ワークショップについてのご質問も

上記までお寄せください

FAX：

**083-901-2216**

ワークショップについてのご質問も

上記までお寄せください

受付開始日：1月12日(土)

## 託児サービス(プレゼンテーションのみ)

対象：0才(6ヶ月)以上

託児時間：開始の30分前から終了30分後まで

料金：お子様1人につき500円、2人目以降は1人につき300円

申込方法：2月16日(土)までに、チケットインフォメーションまでお申し込みください。

## 車椅子席・補聴システム

事前にお問い合わせください